

左鎖骨上窩腫瘤穿刺吸引細胞診の1例

呉共済病院 病理診断科

○小林 剛、柴田 淳、信広亮輔、
斉藤陽一、浦岡直礼、佐々木なおみ

症例1

【検体】左鎖骨上窩腫瘍穿刺吸引細胞診

【年齢、性別】70歳代、男性

【臨床経過】3ヶ月前より左鎖骨上窩にしこりを認め、増大傾向があったため、当院へ紹介受診された。CT検査では、左鎖骨上窩、左腋窩、腹部大動脈周囲、両側内外腸骨動脈周囲に多数のリンパ節腫大を認めたが、原発となる明らかな腫瘍は指摘できなかった。上部消化管内視鏡検査でも明らかな病変は認められず、腫瘍マーカーはCEA, CA19-9, S-IL2-Rいずれも正常範囲であった。組織型の決定を目的に左鎖骨上窩腫瘍穿刺吸引細胞診が施行された。

Photo 1. 圧座標本 パパニコロウ染色×10

Photo 2. 圧座標本 パパニコロウ染色×40

Photo 3. 圧座標本 フィールド（簡易ギムザ）染色×20

Photo 4. SurePath標本 パパニコロウ染色×40

Photo 5. スメア標本 パパニコロウ染色×40

Photo 6. スメア標本 ギムザ染色×40

Photo 1.

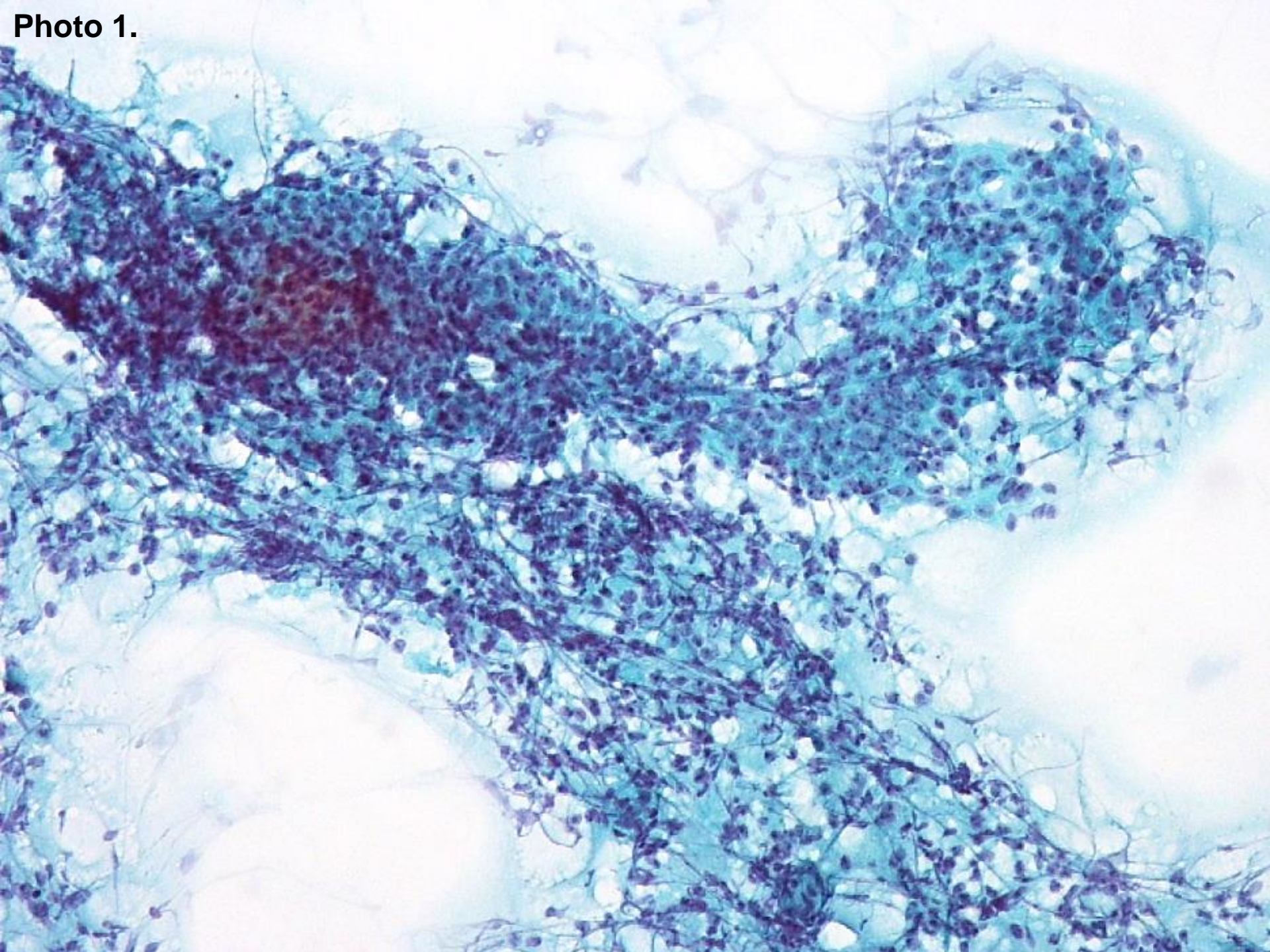


Photo 2.

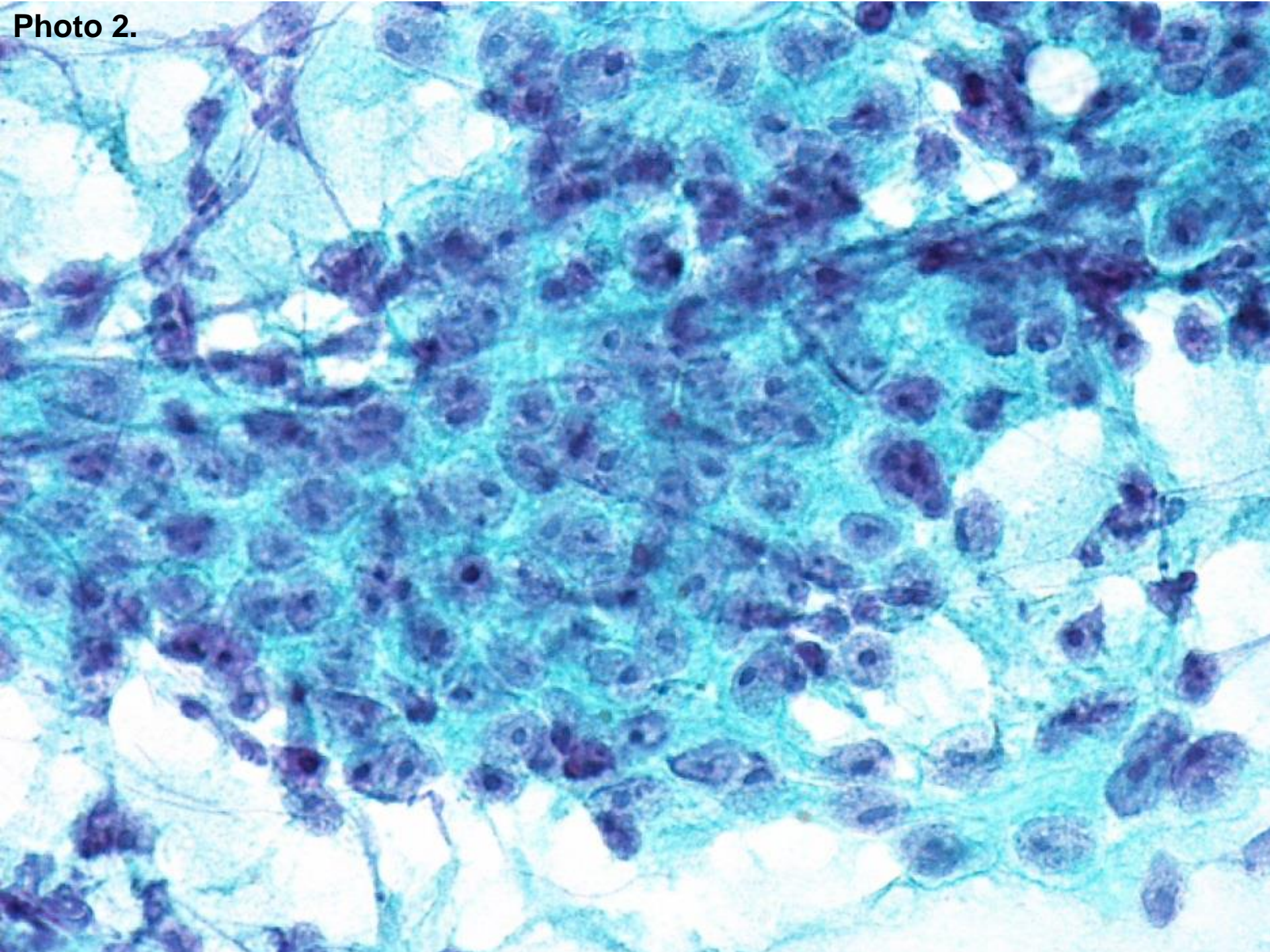


Photo 3.

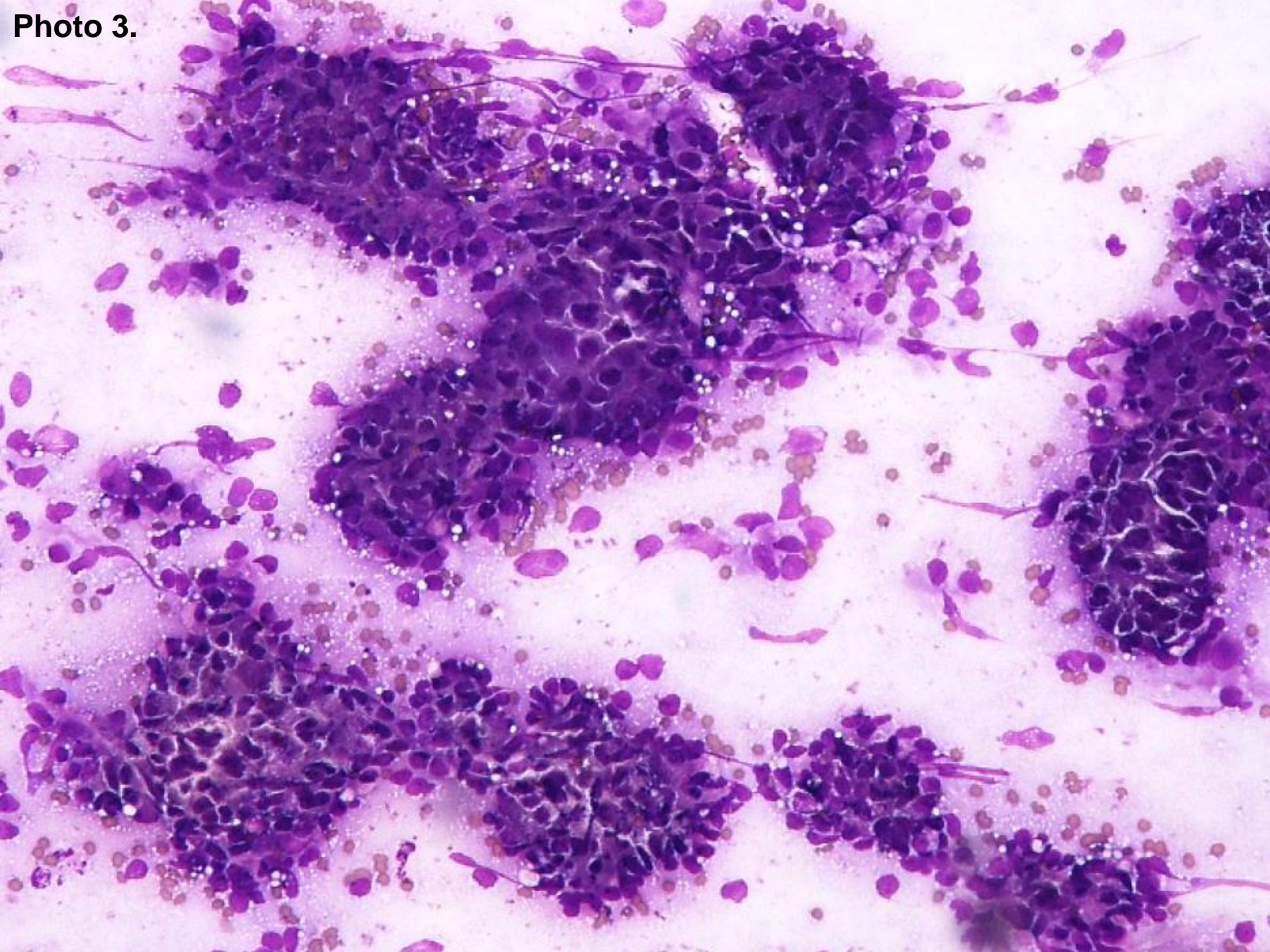


Photo 4.

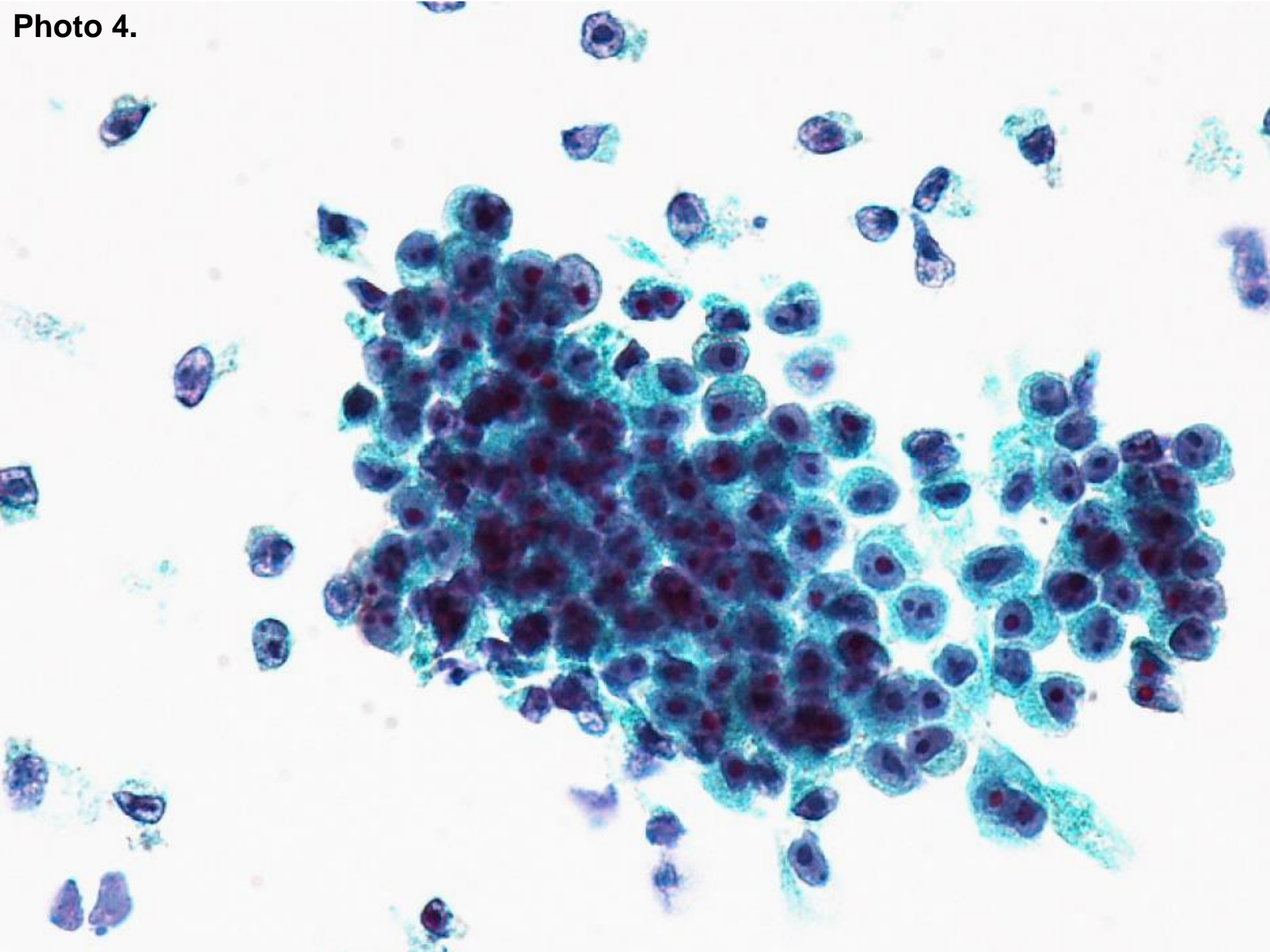


Photo 5.

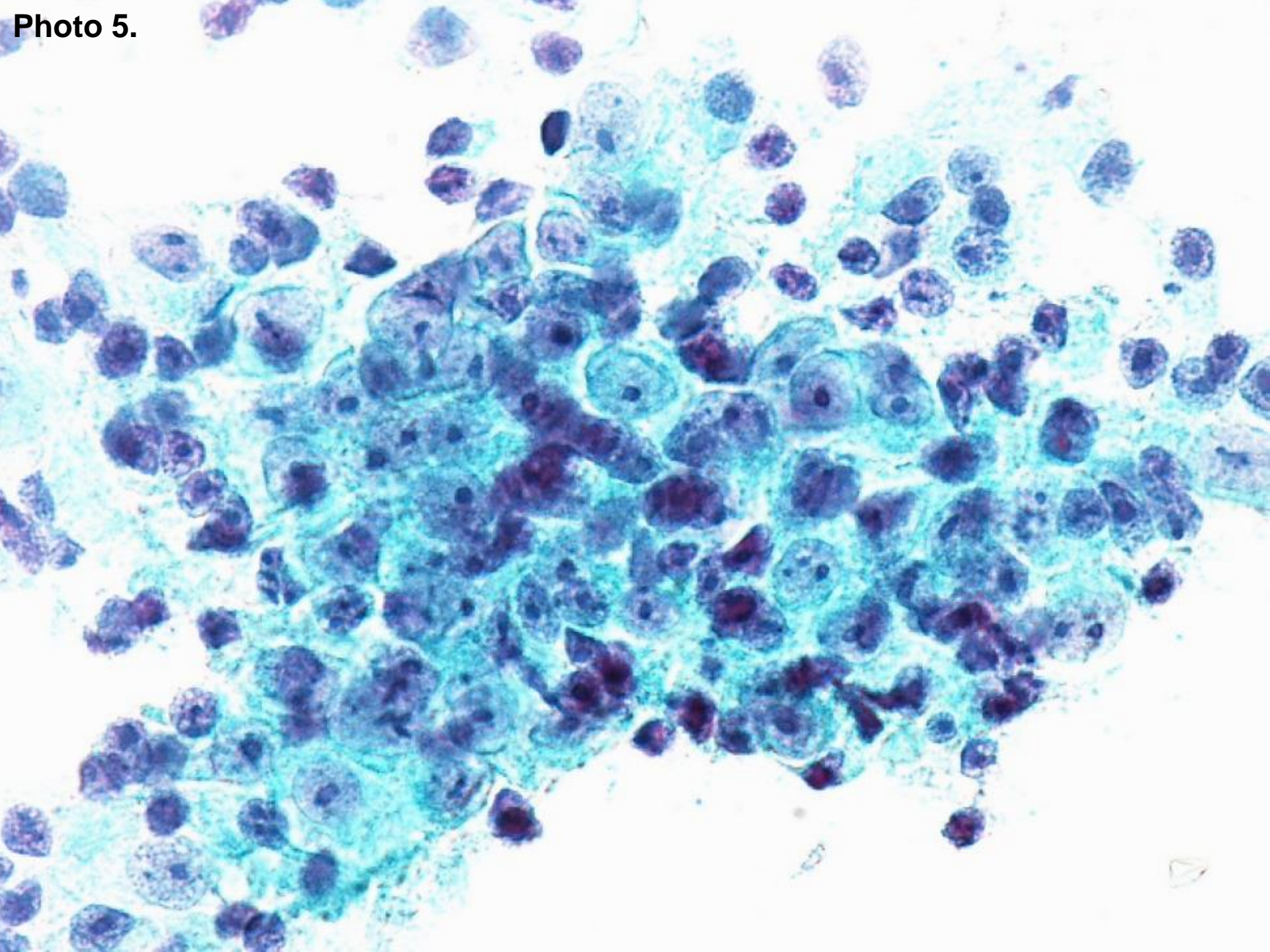


Photo 6.

